

2019 年度（令和元年度）事業報告

一般社団法人和合館工学舎

はじめに

2019年度（令和元年度）は、災害が多く発生しました。地域の建設業のみなさまも、自ら被害を受けながらも、その復旧復興にご尽力いただいているものと拝察されます。現在も豪雨災害が頻発しており、今後とも国土保全と国民生活の安全安心のため引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

さて、和合館工学舎が設立されて最初の年度を終えたことを踏まえて、ご報告と2020年度に向けた活動計画を申し述べたいと思います。

まず、初年度の2019年度は、正会員として10社にご加入いただきました。

2019年度の主な活動は次の通りです。

- (1) 設立総会と開校式
- (2) 技術士養成対策講座
- (3) 和合館東北フォーラム
- (4) 社会人教養セミナー
- (5) 労働環境改善（働き方改革・生産性向上）講座
- (6) 地域建設業経営者と大学教員の座談会
- (7) ホームページの開設、学舎長通信・メールマガジンの発信

これらの行事の参加の延べ人数は、336名となります。このうち、社会人教養セミナーや和合館東北フォーラムでは、定員を超えるご参加をいただきました。労働環境改善講座では、時宜を得た内容であったと思います。また、地域建設業経営者と大学教員の座談会では、それぞれの立場を超えて、活発でざくばらんな意見交換を行うことができ、大学教員側から次回以降は学生たちの参加も検討したいとの意見をいただきました。

しかし、就職転職などの技術者人材マッチング事業については、人材のネットワークとデータベース作りが必要であるため、実際の活動はできませんでした。

さらに、技術士養成対策講座では、地域の建設業における技術士の必要性を浸透できずに、受講生数が予定より少なくなりました。

以上の結果を反映して、2019年度の決算は厳しい状況となりました。

そこで、2019年度の状況を踏まえ、2020年度の計画を策定しました。

- (1) 技術者登録制度を開始し就職転職サービスに一步踏み出す。
- (2) 技術者登録制度を利用した地域の建設業の技術支援を実施する。
- (3) 新入社員教育プログラム（オンライン方式）を開発し、新人研修に利用していただく。
- (4) 地域建設業にも技術士を誕生させるよう努力する。
- (5) 和合館フォーラム、教員との座談会をさらに充実し、技術者のネットワークを広げる。
- (6) 正会員、賛助会員（法人、個人）の会員サービスの充実を図り、会員数を増加する。

2020年度は、財務基盤を確立し会員サービスの充実を図るため、新規会員の増強と新事業展開を促進する予定です。

今後とも和合館工学舎の事業・運営にご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表理事 会長 小野貴史

2019 年度(令和元年度)事業報告

1. 総会・理事会関連

- 2019 年 5 月 23 日 設立準備会 東京 (9 名)
- 2019 年 6 月 21 日 第 1 回理事会 仙台 (9 名)
- 2019 年 6 月 21 日 設立総会 仙台 (9 名)
- 2019 年 10 月 23 日 第 2 回理事会 東京 (8 名)
- 2020 年 4 月 14 日 第 3 回理事会 仙台 (オンライン会議、9 名)

2. セミナー等開催

2.1 技術者交流連携センター事業

(1) 「和合館工学舎」開校式

日時：2019 年 6 月 21 日

場所：フォレスト仙台、第一・二会議室

参加者：100 名

テーマ：ものづくりからことづくりの建設技術者

- ・ 特別講演「地方が救う日本の危機－「人生 100 年時代」をインフラが創る」
講師：大石久和 氏 (一社) 全日本建設技術協会 会長
- ・ パネルディスカッション「地域社会における建設技術者の役割とその教育」

(2) 和合館@東北フォーラム 2019 の開催

日時：2020 年 11 月 1 日

場所：和合館工学舎本部ラウンジ (フォレスト仙台)

テーマ：地域に根差した建設産業のこれから

- ・ 「東北地域と土木を取り巻く環境について～官庁 OB の視点～」
講師：地本敏雄 氏 元東北地方整備局 仙台港湾空港技術調査事務所 所長
- ・ 「アジア初の巨大国際機関・ILC の概要と少子高齢化・人口激減ニッポンのまちづくり」
講師：吉岡正和 氏 高エネルギー加速器研究機構 名誉教授

2.2 エンジニア養成センター事業

(1) 令和元年度技術士試験〔建設部門〕対策講座

場所：和合館工学舎本部（フォレスト仙台）

形式：オンライン講座（CPD 認定講座）

- ① 2019年4月～7月 令和元年度技術士第二次試験対策講座（全13回）6名
- ② 2019年7月～10月 令和元年度技術士第一次試験対策講座（全10回）8名

(2) 令和2年度技術士試験〔建設部門〕対策講座

場所：和合館工学舎本部（フォレスト仙台）

形式：オンライン講座（CPD 認定講座）

- ① 2020年2月18日 受験ガイダンスコース 8名
- ② 2020年4月2日 受験申込書作成コース 9名
- ③ 2020年4月～5月（～7月） 令和2年度技術士第二次試験必須科目コース（全8回） 5名

(3) 社会人教養セミナー

場所：和合館工学舎本部（フォレスト仙台）

形式：オンラインセミナー（CPD 認定講座）

- ① 2020年1月30日 技術論文の書き方(1)、21名（正：5名、非：16名）
- ② 2020年2月6日 技術論文の書き方(2)、20名（正：5名、非：15名）
- ③ 2020年4月23日 報告書の書き方、 35名（正：23名、非：12名）
- ④ 2020年5月27日 土と災害のはなし、 39名（正：37名、非：2名）

2.3 生活環境支援センター事業

(1) 建設業のための働き方改革講座

日時：2020年2月12日

場所：フォレスト仙台第二会議室

形式：オンライン講座（CPD 認定講座）

テーマ：企業の未来のための働き方改革

講師：田中菜摘氏（田中菜摘技術士事務所・和合館工学舎）

参加者：5社・15名

(2) 建設業のための生産性向上講座

日時：2020年2月12日

場所：フォレスト仙台第二会議室

形式：オンライン講座（CPD 認定講座）

テーマ：働き方改革は「生産性向上」から！

講師：佐藤勝幸氏（R・C コンサルティングオフィス代表）

参加者：4社・15名

2.4 就職転職支援センター事業

(1) 第1回地域建設業経営者と大学教員の座談会（東日本地区）

日時：2020年5月29日

場所：和合館工学舎本部（フォレスト仙台）

形式：正会員対象、オンライン座談会

参加者：10名（内、現役大学教員4名）

コーディネータ：今西肇（和合館工学舎学舎長）

・地域建設業の役割（20分）

東北大学、久田真教授「インフラ維持管理にかかわる地域格差の現状と未来の建設に求められるもの」

東海大学、杉山太宏教授「東海大学が考える地域建設業の役割と期待」

新潟大学、安田浩保准教授「豊かな情緒と鮮明な創造力が未来を描く」

東北工業大学、権永哲准教授「東北工業大学が考える地域建設業の役割と期待」

・地域建設業の活動（30分）

(株)小野組、小野貴史社長

一二三北路(株)、熊谷一男社長

(株)原工務所、原諭社長

(株)福井建設、福井正人社長

(株)深松組、深松努社長

・質問事項に関して先生方と意見交換（30分）

① 人材 大学卒業者の行方、仕事の量と質、地域建設業の働き方

② 技術 ICT、AI と建設業

③ マネジメント ストック効果と建設業、PPP に代表される新たな受発注形態

④ その他 人材の対流、地域建設業の問題対応能力の支援

・その他、地域建設業が目指すもの、雑談（20分）

2.5 新技術研究センター事業

2.6 知的集約・情報センター事業

3. 広報活動・情報発信

- (1) ホームページ (<https://wagokan.or.jp>) および Facebook の開設・更新
- (2) 学舎長通信およびメールマガジンの配信
- (3) パンフレット 500 部作成

4. 会員増強(新規入会)

- ① 株小野組
- ② 株砂子組
- ③ 株原工務所
- ④ 株中村組
- ⑤ 中村建設株
- ⑥ 一二三北路株
- ⑦ 株深松組
- ⑧ 株小野工業所
- ⑨ 但南建設株
- ⑩ 株大島組

5. メディア掲載

- (1) 新聞：7 記事（建設通信新聞：5 記事、建設産業新聞：2 記事）
- (2) 雑誌：2 記事（建設マネジメント技術：1 記事、日経コンストラクション：1 記事）

6. その他

- (1) コロナウィルス感染症対策について情報提供（対象：正会員企業）
 - ① 2020 年 3 月 31 日 洗淨除菌剤（アルコール製剤）の販売
 - ② 2020 年 4 月 8 日 使い捨てマスクの販売
 - ③ 2020 年 5 月 12 日 除菌・消臭用高機能水、使い捨てマスクの販売

